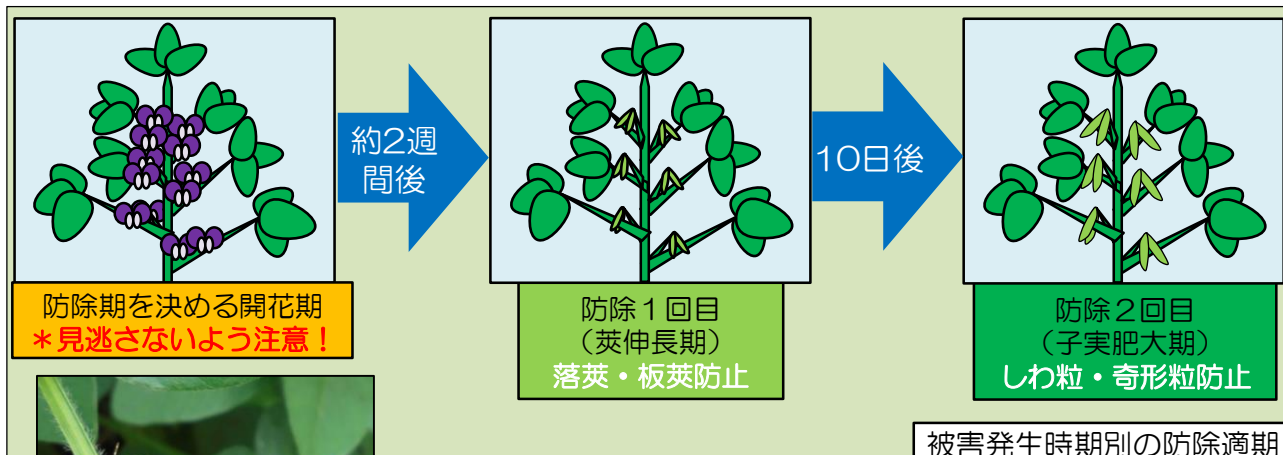


4. 生育期の管理作業（後編）

1) カメムシ・紫斑病防除 ～見えにくい所で品質・収量を損ねます！～



カメムシ（令和元年産大豆圃場「ミナミアオカメムシ」）

参考 散布水量別使用量

希釈倍率	散布水量/10a		
	100L	200L	300L
2000倍	50ml	100ml	150ml
1000倍	100ml	200ml	300ml

※カメムシ及び紫斑病防除に使用する薬剤

薬剤名（カメムシ用）	散布時の注意		使用上の注意	
	倍率	散布量/10a	収穫前	回数
キラップフロアブル	2000倍	100～300L	7日まで	2回以内
スミチオン乳剤	1000倍		21日まで	4回以内
スタークル液剤10	1000倍		7日まで	2回以内

薬剤名（紫斑病用）	散布時の注意		使用上の注意	
	倍率	散布量/10a	収穫前	回数
アミスター20フロアブル	2000倍	100～300L	7日まで	2回以内
バルコートフロアブル・水和剤	1000倍			

ポイント

- ①カメムシ・紫斑病の防除は開花期がスタートです。大豆の花は非常に小さいので、本葉の付け根を確認し開花期を見逃さないようにしましょう。
- ②カメムシによる大豆の被害は、莢の生育ステージごとに異なります。時期別に
1回目：落莢・板莢の発生防止による収量確保
2回目：しわ粒・奇形粒の発生防止による品質向上
の防除を確実にいきましょう。また紫斑病防除も忘れず実施しましょう。
- ③防除期ごとに異なる薬剤を使用し、連用による耐性虫・耐性菌発生を防ぎましょう。

2) 汚損粒の発生防止 ～一度汚れが付いたら取れません！～

汚損粒の発生原因	対策で徹底する点
収穫期の圃場に残る雑草の汁	雑草の抜取り
青立ちした大豆の汁 (カメムシに莢を吸われる、葉腐病等により発生)	開花後の2回防除 青立ち大豆の抜取
収穫時にかみ込んだ土による汚れ	作業前の刈取り高さ調節

ポイント

- ①防除作業の総仕上げです。原因となるものを収穫までに圃場から取り除きましょう。
- ②収穫前の刈取り機器点検も忘れず行いましょう。

注意！ 生育期間中のハスモンヨトウ防除、排水溝の整備も引き続き徹底してください。

3) 台風接近時の農作業安全対策 ～自身の安全確保が第一、最新情報に注意！～

ポイント

- ・台風発生後の進路予報が出たらすぐに対策を
- ・接近時から通過後は自宅で待機し、**河川や水路、畦畔等には絶対近付かないこと！**
- ・通過後の排水対策及び病害虫防除の徹底